

ポスター賞日本語部門2位を受賞

つくば Science Edge 2025 アイデアコンテスト参加報告

◇期 日：令和7年3月28日（金）～29日（土）

◇場 所：つくば国際会議場

◇参加者：SS 化学部5名

◇引 率：SS 化学部顧問 浮田直美先生

つくば Science Edge 2025 中高生国際科学アイデアコンテストは、国内外の中高生 366 チーム（国内 282、海外 84）、のべ 2000 人を超えるエントリーがあった大きな大会で、発表の他にも国際交流会やサイエンスワークショップなどがありました。



1年生4名は「銅(Ⅱ)錯イオンでメッキした真鍮で彩る生活空間～真鍮表面で生じる多彩な干渉色～」のサテライトプレゼンテーションに、2年生1名は「高分子のカルボキシラートイオンの作用で様々な形状に成長する NaCl 結晶～食品への応用を目指して～」のブースポスタープレゼンテーションに参加しました。大会では、ポスター発表と口頭発表の両方の発表をする時間がありました。口頭発表で使用したスライドには、自分たちで撮影した写真を大きく載せるなど興味をもってもらえるように工夫をしました。様々な場所から来た他校の生徒と実験について話したり、審査員や先生方からアドバイスをいただいたりするという時間の中で、様々な視点から多くのことを学ぶことができました。銅のメッキについての発表は、ポスター賞日本語部門2位を受賞することができました。

初日の夜に開催された国際交流会では、日本各地の生徒だけでなく、モンゴルや台湾の生徒とグループをつくり、カップ積み重ね競争などのミニゲームを協働して行い、英語でコミュニケーションをとりながら交流を深めることができました。また、翌日のサイエンスワークショップでは、興味のある分野の講義を各自が選び、専門の研究者の方々から研究内容を詳しく説明していただいたり、簡単な作業を行ったりして、理解を深めることができました。

発表にあたり、今大会を運営して下さった関係者の皆様、支えて下さった皆様に感謝申し上げます。

